



アグアスだより



令和6年度2月号
令和7年2月4日(火)
発行

「有終の美」

学級通信に書いている学級もありましたが、「1月はいく、2月はにげる、3月はさる」とよく言われます。あっという間に1月が終わり2月に入りました。いよいよ本年度も残り1か月余りです。子どもたちの登校日を数えるとあと28日です。そんな子どもたちに、最後の振り返りをしっかりして次につなげてもらおうと思い、2月6日の全校朝会では、「有終の美」について話そうと思っています。

「有終の美」の「有終」は、中国の「詩経」にある言葉で、そこには、「靡不有初、鮮克有終」(初め有らざる靡(な)し 克(よ)く終わり有るは鮮(すくな)し:最初から一所懸命取り組まない人はいないが、最後まで一所懸命取り組む人は少ない)とあります。

私たちに、「途中で投げ出したりせず、最後まできちんと成し遂げるように努力することが大切だ」という教えだと捉えます。私自身もとても苦手とするところで、日ごろから「有終の美」が飾れるように心がけているところではありますが、なかなか思うようにできていないところが本音ではあります。

しかし、子どもたちには、この1年の「有終の美」を飾ってもらいたいと思います。残りの1か月余りで、しっかりと学習面と生活面の振り返りをして、身の回りをきちんと整理することがこの1年の「有終の美」を飾ることになると伝えたいと思います。各家庭でも話題にさせていただき、子どもたちにとって、この1年がより充実した1年になるように寄り添っていただけると有り難いです。

学校にとっての「有終の美」は、子どもたちがこの1年を振り返り、一人一人が自分の成長を感じて、次

のステップに意欲をもって取り組もうという気持ちをもたせることだと思います。残り僅かではありますが、そのために全力を注いでまいりますので、最後まで、御理解、御協力をいただきますようお願いいたします。
(校長 山下 繁樹)

2月予定行事予定

- 4日(火) 節分集会・PTA 図書室開放
- 5日(水) 憲法記念日・後期クラブ活動⑥
- 6日(木) 全校朝会
- 7日(金) 小学部新1年生体験入学・
新入生保護者説明会
- 10日(月) 後期期末テスト(~12日)
- 11日(火) PTA 図書室開放
- 14日(金) フランス交流(友情の日)
- 17日(月) 音楽集会
- 18日(火) 音楽鑑賞会(マリアッチ)
PTA 図書室開放
- 19日(水) 後期委員会⑦
- 20日(木) ブロック朝会
- 25日(火) 音楽集会・PTA 図書室開放
- 26日(水) 後期クラブ⑦
- 28日(金) 学級懇談会・全体保護者会
PTA 総会(書面開催)

【来年度の長期休業の予定】

- 夏休み 7月18日(金)~ 8月11日(月)
- 秋休み 10月 4日(土)~10月 6日(月)
- 冬休み 12月20日(土)~ 1月12日(月)
- 春休み 3月14日(土)~

来年度の行事予定は全体保護者会で
お知らせします。

今年度の体力向上の取組

4月から朝運動や体育の授業を通して体力上の取組を行ってきました。5月に行った体カテストを分析すると、昨年度に引き続き、握力に課題があることがわかりましたが、昨年度課題だった柔軟性や投力の数値が向上していました。



アグアスカリエンテス日本人学校の子どもたちは、上体起こしの記録は全国平均を上回っているため、握力の数値を向上させるには手や指先をたくさん使ったトレーニングを増やしていく必要があると感じました。

また、今年度は駅伝大会ではなく、持久走大会になりました。子どもたちは自分の記録と向き合いながら、朝運動や休み時間を使って、一生懸命練習に取り組んでいました。初めのうちは、完走することがやっとだった人

たちもどんどん記録を縮めていき、1分以上タイムが縮まった人もいます。1800mの高



地で走ったことで呼吸器・循環器が鍛えられました。これらの器官は、運動との関わりが深いです。持久走大会が終わった後は、朝運動で縄跳びを行うことで、運動を習慣化し、呼吸器・循環器の発達を促していきたいと思います。



今後も握力や筋持久力だけではなく、アグアスカリエンテス日本人学校の子どもたちの体力について、しっかりと分析し、瞬発力や柔軟性などをバランスよく鍛えていけるような取組を行っていききたいと思います。

行っていきたいと思います。

(体育担当 村上 紗香)



1月8日(水)書初め会

校長先生の揮毫を見ながら、それぞれがイメージを高め、書初めに取り組みました。

児童生徒の皆さんは、限られた時間の中で力を発揮し、素晴らしい作品を書きあげました。

ユニバーサルデザイン

「ユニバーサルデザイン」とは、性別や年齢、文化、障害の有無を問わず、すべての人が公平に利用できるように設計されたデザインのことを指します。皆様もこの言葉を耳にしたことがあると思います。

実は、今回の学校だよりで使用しているフォントは、「UD デジタル教科書体 NK-R」というもので、ユニバーサルデザインの1つです。どんな子どもにとっても読みやすく、かつ文字を手書きするときの動きや形がわかりやすいようにという配慮のもとに作られた文字です。

今回これを使用することになったきっかけは、職員会議内でのある教諭の発言です。

「保護者向けの文章など、学校から発信するのは、ユニバーサルデザインのフォントを使ってはどうだろうか。」

私たちは、多様性を尊重すること、個に応じた指導を行うことを大事にしています。この教員の発言をきっかけに、小さなことではありますが、一歩前進できたのではないかと考えています。